

キリストを現代に伝える人たち



～ベサニー・ハミルトン～

2003年10月31日、ハワイのカウアイ島海岸で、サーフィンを楽しんでいた13歳の少女がサメに襲われました。少女は左腕を肩から食いぢられ、生死の境をさまよいましたが、奇跡的に一命を取り留めました。彼女の名前はベサニー・ハミルトン。事故の後、彼女はトラウマと身体の不自由さに苦しみながらも、神様に祈り続けました。

「わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。—主の御告げ—それはわざわざではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。」

彼女はこの聖書の言葉を信じ、神様が自分の人生の上に立てておられる計画が何かを探していました。そして、彼女は再びサーフボードを手にしたのです。片腕の彼女にとって、決してやさしいことではありませんでした。厳しい訓練と多くの時間と粘り強い根気が必要でした。それでも、彼女は決してあきらめませんでした。サーフィンをすることが、神様が自分のために立ててくださった計画だと確信していたからです。現在、彼女はプロサーファーとして活躍しています。そして、彼女の姿は今も世界中で多くの人に希望を与え続けています。

TOPIC!!

今年も教会の庭にバラが咲きました。五月晴れの青空のもと私たちの目を楽しませてくれました。



Question 04

教会によせられた質問にお答えします。

Q: 教会に行くと、生活面でいろいろと規制され、自由がなくなるような気がするのですが・・・?

A: そんなことはありません。人を傷つけたり、社会に害を及ぼしたりしない限り、基本的にクリスチャンは自由です。食べ物や嗜好品(しこうひん)、乗り物などに関する規制も一切ありません。昔の人はキリスト教を揶揄(やゆ)して、「酒飲まず、煙草吸わぬヤソ教は、アーメンどうな宗旨なるかな」と歌ったそうですが、聖書の教えは「あれもダメ、これもダメ」と、私たちの生き方を束縛するものではありません。むしろ、私たちが罪の呪縛から解放して、真の自由の中に生きる者とするのが、キリストの救いなのです。

「デイサービス オリーブの実」に続いて...

居宅介護支援事業所

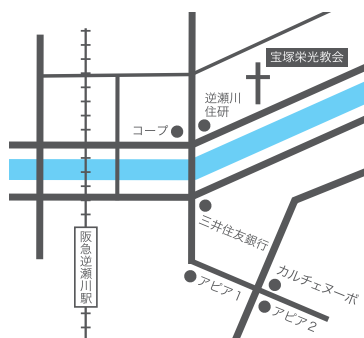
「ケアプラン オリーブの実」

7月1日
開設予定

ケアプラン オリーブの実

お問い合わせ・ご相談は
下記までお電話下さい。

0797-73-6055



宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: takaraeikou@gmail.com http://www.takara-eiko.com

希望のダイヤル 0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。

ポッドキャストでも配信中！
ホームページから利用できます。

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なキリスト教会です。もしお困りの方はご相談ください。



主を知ろう

雨の多い季節です。雨は聖書では神の祝福の象徴です。聖書にこうあります。「私たちは、知ろう。主を知ること切に追い求めよう。主は暁の光のように、確かに現れ、大雨のように、私たちのところに来、後の雨のように、地を潤される。」(ホセア書6章3,4節)

神様は私たちを愛してくださっています。その神様の前に、私たちは傲慢であり、自己中心的な実に罪深い者で、そのままでは滅び行く者でした。そのような私たちのために、神様はひとり子イエス・キリストをこの世に送り、十字架におかけになりました。

それは、私たちを罪から救うためでした。このキリストを信じれば、私たちはどんな罪も赦され、救われます。そして、神様に喜んでいただける生き方を始めることができます。神様が豊かに祝福を注いで、私たちをご自分の民として導いてくださるのです。

私たちは、知らなければならないこと

がたくさんあります。しかし私たちは、本当に知らなければならないことを案外知らないのではないのでしょうか。私たちがどう生きていくべきか、何のために生きているのか、死んだ先に私たちがどこへ行くのかなど、自分で未解決のままになっていることが多いです。

それらのことは、何によって知ることができるでしょうか。一番の大元を知ることが必要です。天地を創造されたまことの神、私たちを愛し、キリストの十字架によって私たちに罪から救い、祝福の道へと導いてくださる主を知ることです。

主を知るとは、この神の愛を知ることです。神の愛を知れば知るほど、私たちに与えられた恵みの大きさが分かります。知ると言っても、頭で理解する、納得するということではありません。体験するのです。そこから私たちの生き方や、死の問題、さらには子育てや人間関係の問題など、あらゆることに解決がついていくのです。

あなたは、本当に知るべきお方を知っておられますか。主のほうでは、あなたのことをよくご存知です。

「クリンソウ」

夏までには まだ少しという頃 クリンソウに出会った

湿り気を帯びた木々の間をぬって 歩き進んだが
霧が立ち込めて 視界をさえぎった
少し立ち止まって あたりを見渡すと
どうやら道は 先に続いているようだった

霧も晴れた頃 目の前に現れたのが
このクリンソウの 群生だった
目を奪う 紅紫色の花の色は
美しい絵のようで どこか違う場所に
迷い込んだようだった

湿地や水辺のあたりに 生育すると聞いていたが
こんな山あいの場所に 咲いていたなんて

花のひとつひとつは 愛らしい表情をしている
春 街の花屋で見かける サクラソウの仲間だ

クリンソウよ
どんどん仲間をふやして 咲いていて欲しい
そして 山野を歩く者の目を いやして欲しい
やさしい花のひとつひとつに 願いをこめて
帰途についた

わたしは 神が人の子らに
お与えになった務めを 見極めた
神は すべてを時宜にかなうように造り
また 永遠を思う心を 人に与えられる
それでもなお 神のなさる業を 始めから終わりまで
見極めることは 許されていない
わたしは知った 人間にとって最も幸福なのは
喜び楽しんで 一生を送ることだと

(聖書)

